

8. その他

1) 成医会

(1) 第126回成医会総会は、平成21年10月1日(木)・2日(金)の2日間にわたり開催された。

① 特別講演

近藤 一博教授(ウイルス学)

「ウイルス学的アプローチによる疲労の分子機構の解明」

中山 和彦教授(精神神経科)

「精神科薬物治療法の最適化—発症から自己治癒過程を踏まえて—」

② 宿題報告

福島 統教授(教育センター)

「医学教育の新しい流れ」

阪本 要一教授(晴海トリトニッククリニック)

「体組成に関する基礎的・臨床的研究」

福永 眞治教授(病院病理部)

「胞状奇胎の臨床病理学的研究」

池本 庸准教授(泌尿器科)

「前立腺肥大—症状スコアからみたその病態特性—」

③ シンポジウム

「新型インフルエンザパンデミックへの対応を考える」

司会 小野寺昭一(感染制御部)

近藤 一博(ウイルス学)

1. 感染症情報センターの対応

岡部 信彦(国立感染症研究所感染症情報センター)

2. 海外渡航者への対応

加地 正伸(日本航空健康管理室)

3. 附属病院としての対応

中澤 靖(感染対策室)

4. 新しいインフルエンザワクチンの開発

長谷川秀樹(国立感染症研究所インフルエンザウイルス研究センター)

④ パネルディスカッション

「女性医師の働きやすい環境づくりに向けて」

司会 田尻 久雄(消化器・肝臓内科)

川瀬 和美(乳腺・内分泌外科)

1. 基調講演『企業における女性の活躍支援』

岩田喜美枝(㈱資生堂代表取締役副社長)

2. 本学の女性医師の現状と支援

岡崎 史子(循環器内科)

3. レジデントの現状と問題点

三木 麗(外科)

4. 開業医の立場から

大野 京子(小児科)

5. 教室運営と女性医師

中川 秀己(皮膚科)

6. 病院としての今後のサポート体制

谷口 郁夫(副院長・常務理事)

(2) 第1255回成医会例会は、平成22年2月19日(金)に行われ「日本のこれから、日本人のこ

れから」が講演のテーマとして選ばれた。司会は、阿部俊昭（成医会運営委員長）が務め、お茶の水女子大学名誉教授の藤原正彦先生が講演し、最後に栗原敏成医会会長（学長）が総括を行った。

- (3) 第127回成医会総会については、平成22年10月7日（木）、8日（金）の2日間にわたって開催の予定。

2) 各種行事

- (1) 平成21年4月9日（木）、平成21年度医学科および看護学科入学式を挙行了した。
- (2) 平成21年8月4日（火）～8月6日（木）、宮崎県穆佐小学校学童2名、教諭2名の本学招待旅行が行われた。この行事は、昭和50年より始められ、今回で35回目となる。
- (3) 平成21年10月3日（土）、同窓会支部長会議・学術連絡会議が開催された。
- (4) 平成21年10月10日（土）、学祖高木兼寛先生の墓参を行った。
- (5) 平成21年10月17日（土）、卒業50周年を迎えた卒業生（昭34年）をお招きし、懇談の集いを開催した。
- (6) 平成21年10月28日（水）、第105回解剖諸霊位供養法会を増上寺において執り行った。
- (7) 平成22年1月30日（土）、馬詰良樹教授、田嶋尚子教授、久保政勝教授、古幡博教授を囲んでの退任記念パーティーが行われた。
- (8) 平成22年2月22日（月）献体者遺族に対して文部科学大臣よりの感謝状伝達式を執り行った。
- (9) 平成22年3月12日（金）、第85回医学科、第15回看護学科卒業式を挙行了した。

3) 印刷物等の発行

- (1) 法人誌「The JIKEI」の発行
平成22年3月に「The JIKEI14号」を発行した。
同窓、医学部父兄および120周年記念事業寄付者、医療連携病院、教職員に配布しているほか、各種説明会に使用している。
- (2) 慈恵ニュース
平成21年7月に185号、平成22年1月に186号を発行し教職員に配布した。なお、平成21年度の初回発行となる185号の号外として「学校法人慈恵大学 中期目標・中期計画・平成21年度事業計画」を発行した。
- (3) 大学広報
発行なし。
- (4) 大学ガイド
平成21年6月に入試用ガイドとして「平成21年度版大学ガイド」を発行した。
- (5) 大学説明会案内ポスター
「大学ガイド」の作成に合わせ平成21年6月にオープンキャンパスと入試日程のポスターを作成した。
高等学校、予備校等をはじめ、同窓会長、支部長、学術連絡委員に郵送し広報に関するご協力を頂いている。
- (6) 大学公報
毎月発行した。
- (7) 大学ホームページ
ホームページを利用した情報収集が一般化し、大学ホームページの閲覧数は年々増加傾向にある。特に病院ページへのアクセス増加は、患者の病院選択においても大きな影響を与えると判断される。こうした状況に配慮し、関連部署ならびに関連委員会と連携し、ホームページの掲載内容の充実とともに、常に最新情報を掲載するよう努めた。
- (8) イントラネット

「大学・本院会議予定」、「大学・病院行事予定」、「理事会抄録」等のほか、各部署の保有する情報をイントラネット上のホームページに掲載し、学内での情報共有の有効な手段として活用している。

(9) オールユーザーメールの活用

講演会、研修会等の開催のほか、教職員のテレビ・ラジオ・講演会等への出演や新聞・雑誌等への掲載情報を主として、平成21年度は407件のオールユーザーメールを発信した。